

～ 夢を抱き、たくましく次の一步を踏み出す 15 歳の育成 ～ 幼小中一貫教育を推進！

幼小中つながる通信 vol.85

発行：令和3年2月25日 袋井市教育委員会

地域ぐるみで学力を育む ～周南たちばな学園～



試験会場の様子。地域の大人も子どもたちと一緒に挑戦しました。

本市では、基礎学力の向上と、目標に向けて自ら学ぶ姿勢を育てるため、全ての小学3年生から5年生が漢字検定と算数検定を受検する事業を実施しています。

地域ぐるみで子どもの学力を育み地域全体の成長につなげたいと、周南たちばな学園では、学園独自で漢字検定に挑戦する取組が行われました。

学園の取組

子どもと保護者と地域のみなさんが共に学び合う

周南中学校を会場に実施された今回の漢字検定には、学園内の188人（小学生60人、中学生80人、一般の方48人）が挑戦。地域の大人も子どもたちと一緒に、同じ会場で受検しました。親子で受検する姿も見られ、地域ぐるみで教育力を高めていこうとする思いが伝わってきました。

この漢字検定は、周南中学校からの呼び掛けに、地域の方が協力して実現。準備や運営を中学校の先生方が、当日の試験監督や駐車場の誘導を地域の方が担いました。

学ぶ意欲と地域への感謝が芽生える

受検した小学生からは、「11月に小学校で受けた漢字検定に合格できたので、今回は2つ上の級に挑戦しました。」「機会を作ってくれてうれしい。来年はもっと上の級に合格できるように頑張ります。」と前向きな声が聞かれました。

学ぶ意欲とともに、地域への感謝の気持ちも芽生えています。



検定の様子を見守る地域の方

「幼小中つながる通信」は、袋井市が進める「幼小中一貫教育」について、考え方や関連する取組の様子などを、お知らせするために発行しています。

袋井市教育委員会 教育企画課 幼小中一貫教育推進室 86-3122

